

クロスセクターイノベーションの 知識協創プロセス

～「渋谷をつなげる30人」の実践的研究からの示唆

日本ナレッジ・マネジメント学会 第22回年次大会
2019年6月9日

野村 恭彦
金沢工業大学 KIT虎ノ門大学院 教授
株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役

フューチャーセッションズ

すべての人がセクターの壁を越えて
よりよい未来を創れるようにする
そのための革新的な方法論とサービスを生み出し続ける

2

フューチャーセッション

・フューチャーセッションでは、現場の多様なステークホルダーに加え、**想像力を働かせて「未来のステークホルダー」**も招き入れます。お互いが尊敬の念をもって傾聴し合うことで、**未来に向けての「新たな関係性」と「新たなアイデア」**が生まれます。その結果として、それぞれのステークホルダーが認識と行動を変化させ、協力してアクションが起こせるようになるのです。

- ① 問いの設定
- ② 多様な参加者
- ③ 対話の設計
- ④ 気づきの対話
- ⑤ 協調アクション

Photo: Futures 2013

クロスセクターイノベーションの 知識協創プロセス

1. オープンイノベーションのエコシステム
2. 都市・地域の時代
3. クロスセクターイノベーション
4. 市民協働・公民連携とイノベーション
5. 「渋谷をつなげる30人」という協創の仕組み
6. ファシリテーションの連鎖による知識協創プロセス
 - ・30人の協創
 - ・30人がハブとなつてのオープンセッション
 - ・30人の自組織を動かすオープンイノベーション

4

1. オープンイノベーションの エコシステム

5

- ・オープンイノベーション 1.0
 - ・企業主導のもと、開発技術の向上や新規事業創造を目的とした企業間同士の関係性から実施
- ・オープンイノベーション 2.0
 - ・欧州が主導し、社会ニーズにエコシステムを融合することにより、企業、大学、政府や自治体、そして市民(個人)を含めたステークホルダーと多様な新しいイノベーションをつくりだす活動
 - ・産学官連携による3重螺旋モデルのオープンイノベーションモデルに“市民(個人)”を含めた4重螺旋モデルとしたソーシャルイノベーションを軸としたモデル
 - ・社会課題に市民(個人)の意見を取り込むことで、従来の経済的な課題解決だけではない、社会の複雑な課題を提言・解決する革新的な協創を行うコンセプト

6

オープンイノベーション 2.0

= 産・学・官 + 市民の協創

= クロスセクターイノベーション

7

2. 都市・地域の時代

8

都市・地域の時代

国家の時代	都市・地域の時代
国家単位の経済政策 自動車製造販売依存の産業 GDPを高める政策	都市・地域単位のイノベーション MaaS、自動運転 シェアリング経済
プロダクトイノベーション 持続可能ではない産業政策	ローカルイノベーション 社会価値と経済価値の一致
マスメディア バッドニュースの流布	ローカルメディア グッドニュースの発掘
マスツーリズム 産業としての観光の暴走 質よりも量を重視した政策	持続可能な観光 コミュニティを支援する観光 顔の見えるグローバルな連携
マスを前提とした政策により、 地域はそのための部品として疲弊し、 それを補助金で埋めてきた。	ローカルを前提とした イノベーション政策により、 都市・地域をエンパワーメント

クロスセクターイノベーションの 知識協創プロセス

3. クロスセクターイノベーション

10

クロスセクターでの協創

- **地域・都市の未来**
 - ・ 渋谷区基本構想の実現
- **企業のイノベーション活動**
 - ・ 自治体・NPOと連携した社会価値創出 (CSV)
 - ・ 異業種と連携した新事業
- **自治体の官民協働推進**
 - ・ 自治体だけでは手の届かない地域課題解決の協創
- **NPOの社会課題解決**
 - ・ 企業のリソースとつながることによる活動拡大

11

なぜクロスセクターか (1)

- 社会課題を解決しようとした時、都市や街の行政単位で区切ることは有効。だが、都市や街というものは、自治体のみが責任を持って改善していくもののだろうか？

12

なぜクロスセクターか (2)

- セクター横断のコミュニティで都市を再定義できたら、自治体から自分たちの都市の所有権を取り戻すことができるのではないかと。それが、コレクティブな活動につながるのでは？

13

クロスセクターイノベーションの知識協創プロセス

4. 市民協働・公民連携とイノベーション

14

地域協創フューチャーセッション

- 地域の長期ビジョン**
将来のありたい地域の姿
- 自治体の協創活動**
 - 公民連携: 民間企業の力を把握し発揮できるようにする
 - 市民協働: 市民のニーズを把握し実現を支援する
- 企業のイノベーション活動**

15

クロスセクターイノベーションの知識協創プロセス

5. 「渋谷をつなげる30人」という協創の仕組み

16

PART I 実践編： 「渋谷をつなげる30人」という協創の仕組み

渋谷をつなげる
30人

17

都市の持つ多様性を 30人で表現する

10名 20名

18

私たち、 渋谷をつなげる30人

**新しい渋谷の
レジリエントコミュニティ**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

**新しい渋谷のつながりの
仕掛けづくり**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

**新しい渋谷の
スポーツ&モビリティ**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

**世界で一番子どもが
夢を語るまちづくり**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

**新しい渋谷を
発信するメディアと空間**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

**新しい渋谷の
経済プラットフォーム**

多岐にわたる分野で活躍する30人が、渋谷の魅力を最大限に引き出し、コミュニティを築いていく。

@source: <http://shib30.com/>

20

クリーン&アートプロジェクト

20

クロスセクターイノベーションの 知識協創プロセス

6. ファシリテーションの連鎖による 知識協創プロセス

21

知識協創の3階建のプロセス

基本構想：ちがいを、ちからに変える街

22

知識協創の3つの挑戦

23

知識協創のパターン

- ・パターン1：企業のビジネスモデルの知識が、行政・NPOの社会価値の生み出し方を変える
 - ・寄付ではなく、ビジネスモデルを与える
- ・パターン2：NPOのアートや社会課題の専門知識が、企業・行政が思いもよらなかった、社会価値の生み出し方を描く
 - ・深い知識によって、社会課題の問いを変える
- ・パターン3：行政の政策形成の知識が、NPO・企業では描けない社会価値を生み出す
 - ・行政の仕組みを深く理解し活用することで、社会課題解決のモデルが広がる

24